

科目名	わかやまを学ぶ																																		
担当教員	上村 雅洋 王 妙発 長廣 利崇 藤田 和史 吉村 旭輝 海津 一朗 古賀 庸憲 此松 昌彦 高須 英樹 大橋 直義 東 悦子 加藤 久美																																		
対象学年		クラス																																	
講義室		開講学期	前期																																
曜日・時限	金4	単位区分																																	
授業形態	講義	単位数	2																																
準備事項																																			
備考	全学部・全学年 人数制限有(250名) 学部開放授業登録者は別枠履修可																																		
科目名(英語表記)	Lectures on Wakayama																																		
授業の概要・ねらい	「わかやま」の特性を理解するために、「わかやま」がもつさまざまな側面について、「わかやま」を研究フィールドとする専門家の目を通して学ぶ。そこでは、新たな「わかやま」の姿が具体的に明らかにされ、学生の「わかやま」を深く理解する契機となるであろう。「わかやま」をよく知るることによって、「わかやま」を発信できるようにする。将来「わかやま」などをフィールドとする地域研究を進める上での一助となるであろう。																																		
授業計画	<p>おおむね、以下のような内容を予定しているが、講師の都合により、日程が前後したり、急遽変更することがあるかもしれません。ご承知置きください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス(4月13日)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>和歌山の干潟に見られる希少で豊かな生き物と、その興味深い生態(4月20日、古賀庸憲)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>和歌祭とわかやまの祭礼の特色(4月27日、吉村旭輝)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>多様性のあるわかやまの地形・地質(5月10日、此松昌彦)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>紀伊半島および和歌山の生き物たち(5月17日、高須英樹)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>和歌山から世界へ—海を渡った和歌山県人—(5月24日、東悦子)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>和歌山の環境精神文化(6月1日、加藤久美)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>わかやまの説話・物語(6月8日、大橋直義)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>わかやまの反逆者たち—悪党・海賊・倭寇—(6月15日、海津一朗)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>「江戸時代の紀州と海上の道」(6月22日、上村雅洋)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>和歌山の風土と産業(6月29日、藤田和史)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>和歌山の徐福伝説(7月6日、王 妙発)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>わかやまの家屋と建築(7月13日、平田隆行)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>和歌山の鉱山の歴史と観光資源化の可能性(7月20日、長廣利崇)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ、アンケート(7月27日)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	ガイダンス(4月13日)	2	和歌山の干潟に見られる希少で豊かな生き物と、その興味深い生態(4月20日、古賀庸憲)	3	和歌祭とわかやまの祭礼の特色(4月27日、吉村旭輝)	4	多様性のあるわかやまの地形・地質(5月10日、此松昌彦)	5	紀伊半島および和歌山の生き物たち(5月17日、高須英樹)	6	和歌山から世界へ—海を渡った和歌山県人—(5月24日、東悦子)	7	和歌山の環境精神文化(6月1日、加藤久美)	8	わかやまの説話・物語(6月8日、大橋直義)	9	わかやまの反逆者たち—悪党・海賊・倭寇—(6月15日、海津一朗)	10	「江戸時代の紀州と海上の道」(6月22日、上村雅洋)	11	和歌山の風土と産業(6月29日、藤田和史)	12	和歌山の徐福伝説(7月6日、王 妙発)	13	わかやまの家屋と建築(7月13日、平田隆行)	14	和歌山の鉱山の歴史と観光資源化の可能性(7月20日、長廣利崇)	15	まとめ、アンケート(7月27日)
回	内容																																		
1	ガイダンス(4月13日)																																		
2	和歌山の干潟に見られる希少で豊かな生き物と、その興味深い生態(4月20日、古賀庸憲)																																		
3	和歌祭とわかやまの祭礼の特色(4月27日、吉村旭輝)																																		
4	多様性のあるわかやまの地形・地質(5月10日、此松昌彦)																																		
5	紀伊半島および和歌山の生き物たち(5月17日、高須英樹)																																		
6	和歌山から世界へ—海を渡った和歌山県人—(5月24日、東悦子)																																		
7	和歌山の環境精神文化(6月1日、加藤久美)																																		
8	わかやまの説話・物語(6月8日、大橋直義)																																		
9	わかやまの反逆者たち—悪党・海賊・倭寇—(6月15日、海津一朗)																																		
10	「江戸時代の紀州と海上の道」(6月22日、上村雅洋)																																		
11	和歌山の風土と産業(6月29日、藤田和史)																																		
12	和歌山の徐福伝説(7月6日、王 妙発)																																		
13	わかやまの家屋と建築(7月13日、平田隆行)																																		
14	和歌山の鉱山の歴史と観光資源化の可能性(7月20日、長廣利崇)																																		
15	まとめ、アンケート(7月27日)																																		
到達目標	「わかやま」についての新たな知見を得て、「わかやま」を深く理解する契機とし、「わかやま」情報発信者となる。																																		
成績評価の方法	成績評価は、積極的な授業参加(60%)、および授業内小テストもしくはレポート(40%)によって行う。小テストかレポートは担当者によって異なるので、各回のアナウンスをよく聞くようにしてほしい。																																		
教科書	東 悦子・藤田和史編 2017.「わかやまを学ぶ」清文堂出版。																																		
参考書・参考文献	授業中に適宜紹介する。第1回のガイダンス講義では、一般的な参考文献等を提示する。																																		
履修上の注意・メッセージ	講義は、毎回「わかやま」を対象とし、さまざまな専門性をもつ講師によって順次行われる。1回完結の講義で、できるだけ異なる分野の講師の講義を欠席することなく、数多く受講し、積極的な参加を求める。講師の都合により、多少講義の順序を変更することがある。 第1回目の講義(4月13日)に、詳しい各回の講義内容と担当者の予定について説明する。																																		
履修する上で必要な事項	毎回講師が異なり、そのたびに小テストないしはレポートを提出してもらうので、積極的な授業への参加が求められる。レポートについては指定した期日までに提出してもらう。																																		
受講を推奨する関連科目	「わかやま学」に関する授業、地域協働セミナーなど。																																		
授業時間外学修についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、各回の講師から授業中に実施される省テスト、もしくは提示される課題にしたがってレポートを提出することになりますので、自主的学習を進めてください。																																		
その他連絡事項																																			